

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 デジタルアーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2326 URL <https://www.daj.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道具 登志夫
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 谷崎 文彦 (TEL) 03-5220-1670
 四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,563	9.4	2,188	△2.6	2,201	△2.7	1,521	△2.4
2023年3月期第2四半期	5,084	11.7	2,247	8.1	2,263	8.8	1,558	8.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,526百万円(△2.5%) 2023年3月期第2四半期 1,566百万円(9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	108.90	107.02
2023年3月期第2四半期	111.03	108.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	20,896	14,262	68.1	1,025.71
2023年3月期	21,149	14,173	66.9	1,007.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,229百万円 2023年3月期 14,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2024年3月期	—	40.00			
2024年3月期(予想)			—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	10.2	5,150	16.7	5,150	16.3	3,550	15.9	252.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	14,133,000株	2023年3月期	14,133,000株
2024年3月期2Q	259,930株	2023年3月期	93,833株
2024年3月期2Q	13,972,909株	2023年3月期2Q	14,039,231株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競争状況・為替・金利の変動等もかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)
当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化や外国為替市場での急激な円安・ドル高を原因とする物価の上昇など景気の先行きは依然として不安定な状況がみられます。

当社グループが属するセキュリティ業界においては、ランサムウェアやキーボード操作などから機密情報を窃取する遠隔操作型のマルウェアであるAgent Tesla等、多様化するサイバー攻撃被害が激化していることを背景としてセキュリティ製品に対する需要が拡大しております。これらは大規模企業のみならず、相対的にセキュリティ対策が遅れている中堅・中小企業においても新規導入需要が拡大しております。

こうした中、当社はトータルセキュリティニーズの高まりに対応するため、主力製品「i-FILTER」、
「m-FILTER」、「FinalCode」の連携・機能強化と多様なセキュリティソリューションの追加搭載、「i-FILTER@Cloud」のCASB機能(クラウドサービスの利用状況の可視化や制御を実現する機能)などの新機能追加により、独自の次世代SWG(Secure Web Gateway)の展開に注力しました。さらには、従来のAIでは難しかった文章などを自動的に作り出し注目を集めている「生成AI」をより安全に利活用いただくための制御や利用状況を可視化できる「AIチャットフィルター」機能を2023年8月から「i-FILTER」と「i-FILTER@Cloud」に標準搭載し、ご好評をいただいております。

また、トータルセキュリティニーズへの対応をさらに拡大するために中期経営計画において掲げていたビジョン「新しい価値創造と需要拡大」を実現するサービスとして、2023年9月には安心・安全なクラウドサービスの認証やID管理を実現するIDaaS製品「StartIn」の提供を開始いたしました。

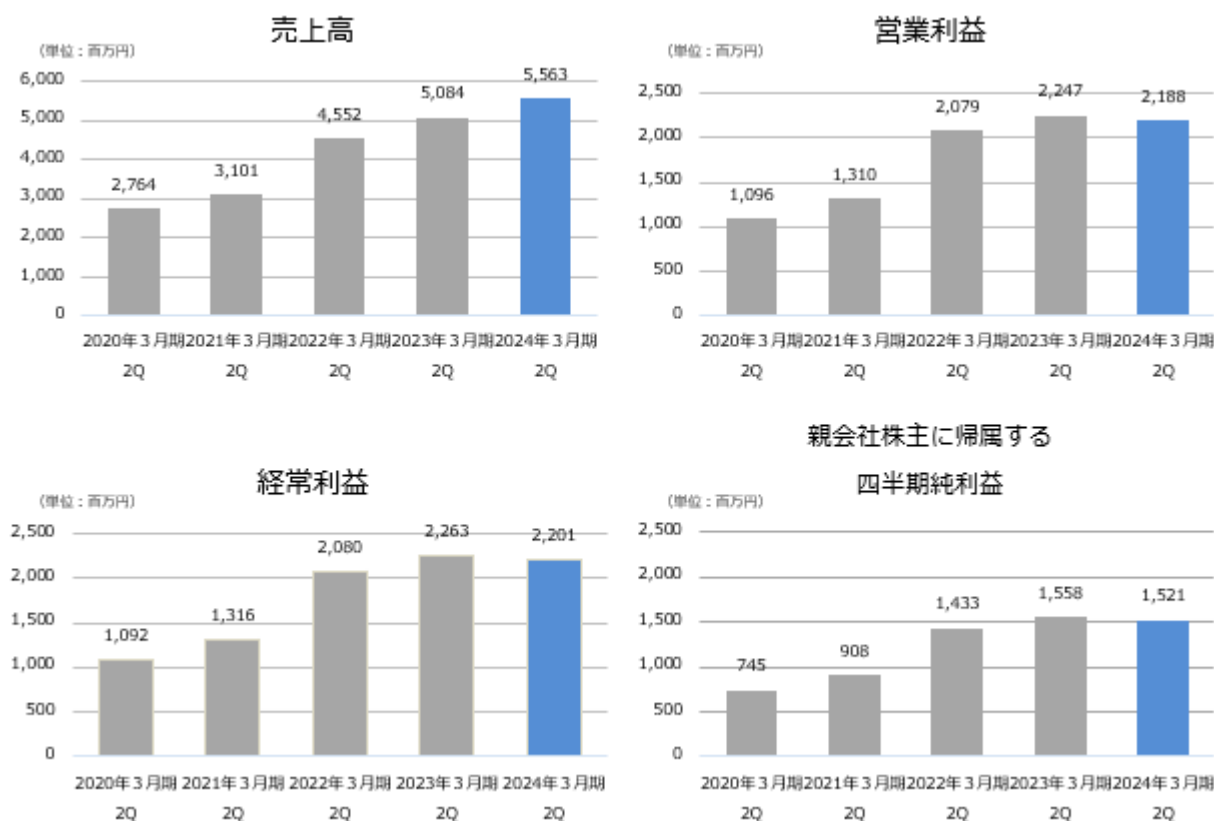
その一方で、過去にない数の新機能追加・新製品リリースに対して積極的に投資したことや、当社および子会社デジタルアーツコンサルティングの人員数増加により人件費が増加したことなどにより、売上原価及び販売費及び一般管理費が前年を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,563百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は2,188百万円(同2.6%減)、経常利益は2,201百万円(同2.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,521百万円(同2.4%減)となりました。

連結経営成績の概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減額	増減率 (%)
売上高	5,084	5,563	+479	+9.4
営業利益	2,247	2,188	△58	△2.6
経常利益	2,263	2,201	△61	△2.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,558	1,521	△37	△2.4



各市場の業績は次の通りです。

企業向け市場

企業向け市場においては、多様化するサイバー攻撃被害の多発によるトータルセキュリティニーズの高まりを受けてリリースした新機能オプションもあり、新規案件獲得が順調に進みました。また、PPAP（ファイルをパスワード付きZIPファイルにしてメールで送付し、パスワードを別送するファイルのやり取り）対策やランサムウェア、Agent Tesla等の標的型攻撃に対応した機能が評価され、「m-FILTER」の新規案件の受注を獲得し、クラウドサービス系製品の売上高が増加しました。

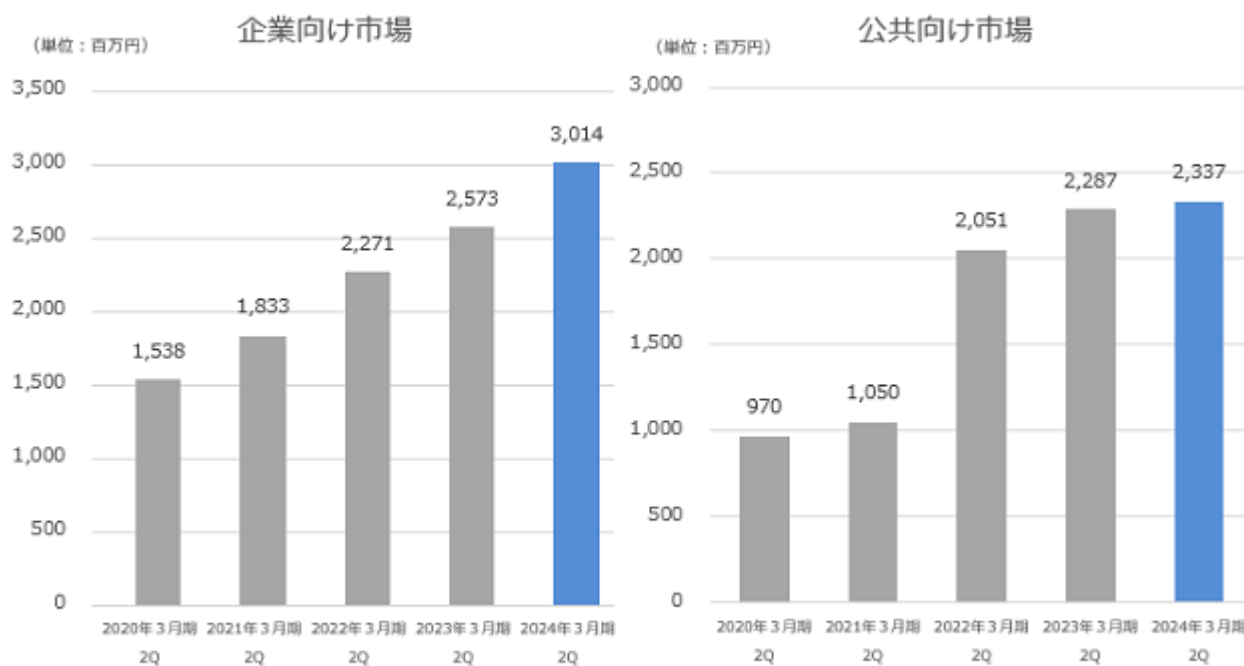
さらにセキュリティコンサルティングサービスを提供している子会社デジタルアーツコンサルティングが、コンサルタント人員の増加に伴い、ISMAP取得関連の案件をはじめ、セキュリティ診断からセキュリティ施策の実行支援まで包括的な支援を行う新規案件の獲得等により売上高を拡大しました。

以上の結果、企業向け市場の売上高は、3,014百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

公共向け市場

公共向け市場においては、「GIGAスクール構想」におけるフィルタリング未導入の学校において新規案件を獲得し、自治体向けのセキュリティ対策強化に対応したソリューションの提案に注力し、新規案件を受注しました。また、官公庁におきましても、従前より当社製品をご評価いただいていることもあり、大型案件を獲得いたしました。

以上の結果、公共向け市場の売上高は、2,337百万円(前年同期比2.2%増)となりました。



家庭向け市場

家庭向け市場においては、1つのシリアルIDで複数OSでの利用が可能な「i-フィルターfor マルチデバイス」の販売に注力しましたが、携帯電話事業者やMVNO事業者等からの売上が減少いたしました。

以上の結果、家庭向け市場の売上高は、211百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ252百万円減少し、20,896百万円となりました。これは主として、現金及び預金が759百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ341百万円減少し、6,633百万円となりました。これは主として、買掛金が144百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、14,262百万円となりました。これは主として、配当金の支払いによる減少を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、2023年5月9日に公表いたしました業績見通しからの変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,018	16,259
受取手形及び売掛金	1,574	1,536
製品	19	2
貯蔵品	3	2
その他	309	836
流動資産合計	18,925	18,637
固定資産		
有形固定資産	209	222
無形固定資産		
ソフトウェア	1,264	1,365
その他	243	172
無形固定資産合計	1,508	1,538
投資その他の資産	506	498
固定資産合計	2,223	2,259
資産合計	21,149	20,896
負債の部		
流動負債		
買掛金	238	94
未払法人税等	839	725
賞与引当金	156	104
前受金	5,187	5,172
その他	502	486
流動負債合計	6,924	6,582
固定負債		
資産除去債務	48	48
その他	1	1
固定負債合計	50	50
負債合計	6,975	6,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	713	713
資本剰余金	953	956
利益剰余金	12,768	13,728
自己株式	△308	△1,186
株主資本合計	14,127	14,211
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14	17
その他の包括利益累計額合計	14	17
新株予約権	11	11
非支配株主持分	20	21
純資産合計	14,173	14,262
負債純資産合計	21,149	20,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,084	5,563
売上原価	1,668	2,128
売上総利益	3,416	3,435
販売費及び一般管理費	1,168	1,246
営業利益	2,247	2,188
営業外収益		
受取利息	0	0
未払配当金除斥益	0	0
為替差益	13	9
雑収入	0	2
営業外収益合計	15	13
営業外費用		
雑損失	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益	2,263	2,201
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,263	2,205
法人税等	702	683
四半期純利益	1,561	1,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,558	1,521

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,561	1,522
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5	3
その他の包括利益合計	5	3
四半期包括利益	1,566	1,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,563	1,525
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,263	2,205
減価償却費	448	433
賞与引当金の増減額(△は減少)	17	△52
受取利息	△0	△0
固定資産売却損益(△は益)	—	△4
固定資産除却損	0	0
為替差損益(△は益)	△12	△12
新株予約権戻入益	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△26	22
棚卸資産の増減額(△は増加)	0	17
仕入債務の増減額(△は減少)	8	△144
未払金の増減額(△は減少)	25	9
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12	84
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△144	△27
その他	6	3
小計	2,573	2,534
利息及び配当金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△717	△784
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,855	1,750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32	△45
有形固定資産の売却による収入	—	9
無形固定資産の取得による支出	△402	△435
その他	—	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△434	△466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△885
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	—	△615
非支配株主からの払込みによる収入	1	—
配当金の支払額	△560	△561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560	△2,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	881	△759
現金及び現金同等物の期首残高	15,773	17,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,654	16,259

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。